

Smokeのメディアストレージの追加、編集、削除

ここではSmoke for Mac OSでのメディアストレージの追加と編集、削除方法について説明します。

注意: ここで記述されていることで、レンダリングされた中間ファイルをすべて失ってしまうことがあるかもしれません。そのリスクと結果を十分理解した上で行ってください。

Autodesk Smoke WikiHelpにあるビデオチュートリアルを参考にすることができます。

http://wikihelp.autodesk.com/Smoke/enu/community/Videos/Changing_Smoke_Media_Storage

メディアフォルダを追加する

Smokeにメディアストレージを追加するには次の手順に沿って行ってください。

1. ファインダを開き、Smokeメディアを保存したいディスクドライブに移動します。

Note: AutodeskではSmokeのメディアドライブとしてシステムディスクを使用することはお勧めしません。

2. 新しいフォルダを作成します。「Autodesk Media Storage」という名前にすることをお勧めします。
3. アプリケーション > Autodesk > Smoke[version] > UtilitiesフォルダからSmoke Setupアプリケーションを開きます。
4. Media Storageタブに移動します。
5. **Add**をクリックします。
6. Selectボタンをクリックし、ステップ2で作成したフォルダを選択します。



7. (オプション): メディアストレージフォルダの名前を変更します。この名前がSmokeプロジェクトマネージメントメニューに表示されます。
8. ウィンドウを閉じるためにOK をクリックします。Smoke Media Storage のリストに新しいストレージフォルダが表示されます。

9. Applyをクリックし、Smoke Setup アプリケーションを閉じます。
10. 新しいメディアストレージフォルダが使用できる準備ができました。
Note: Smokeプロジェクトはメディアストレージフォルダ毎にまとめられています。新しいストレージフォルダでSmokeを使用することで、以前使用していたストレージフォルダにあるプロジェクトにアクセスできなくなります。

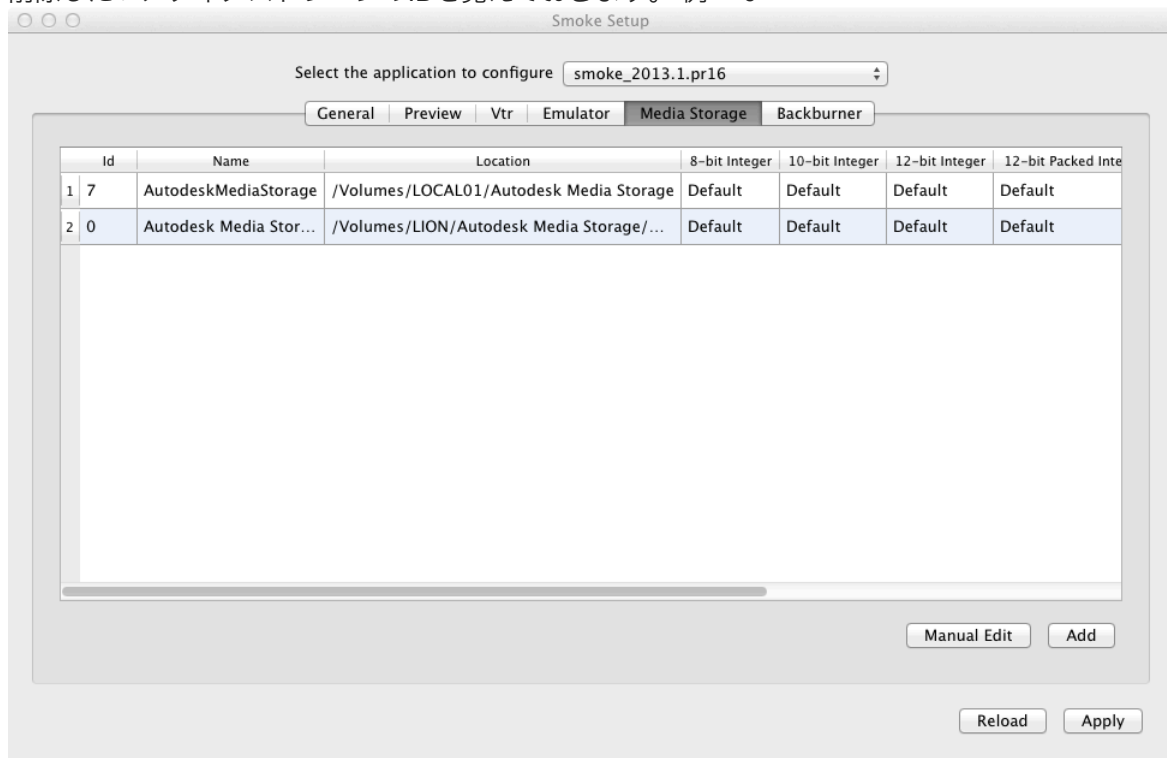
メディアストレージフォルダを削除または編集する

メディアストレージフォルダを削除したい場合もあります。（例えば、新しいフォルダの追加後など）メディアストレージのパーティションを削除するには次を行います。

Note: この手順はメディアストレージフォルダのいくつかのパラメータを編集することについても同時に説明しています。Autodeskでは、名前を変更するような些細な点もこの手順を使用することをお勧めします。しかし、他のフォルダにパスを変更するにはこの手順を使用しないでください。作成されたプロジェクトに関わる問題が起こりうる可能性があります。

注意! メディアストレージフォルダを削除すると、その新しいフォルダを使用している間はSmokeで以前に作成されたどのプロジェクトにもアクセスすることができなくなります。

1. Smoke Setupsアプリケーションを開きます。
2. Media Storageタブをクリックします。
3. 削除したいメディアストレージのIDを覚えておきます。例：0

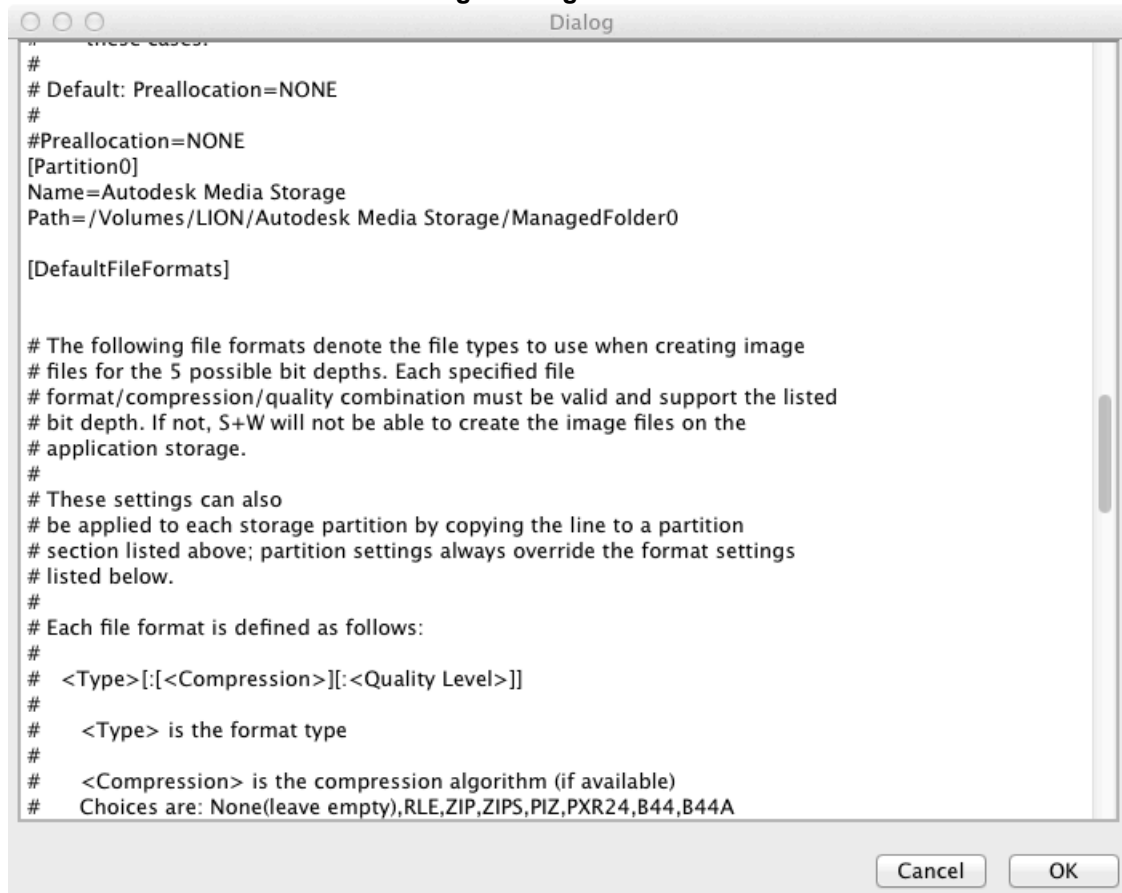


4. Manual Editをクリックします。ストレージ構成ファイルをテキストエディタで開きます。

5. **[Partitionx]**と書かれている所までスクロールダウンします。xはステップ3で覚えたIDです。

例：**[Partition0] Name=AutodeskMediaStorage**

Path=/Volumes/LION/Autodesk Media Storage/ManagedFolder0



6. メディアストレージフォルダを削除したいときは、"**[Partition]**"のラインの前に#を追加し、同様に"**Name=**"と"**Path=**"の前にも#を追加します。

例:

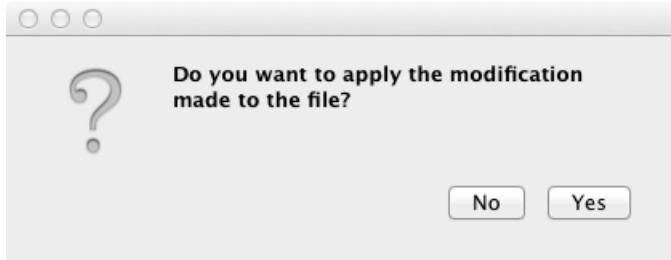
#[Partition0]

#Name=AutodeskMediaStorage

#Path=/Volumes/LION/Autodesk Media Storage/ManagedFolder0

7. 名前だけを編集したい場合には、必要に応じてそれを変更します。注意: **[Partition]** 値とパスは変更しないでください。
8. ファイルを保存するために **Command+S** をクリックしエディタを閉じます。Manual Editをクリックしたときに開いたポップアップメニューでOKをクリックします。

9. 表示された確認メッセージで“Yes”をクリックします。



Smoke Setupアプリケーションで新しい設定をReloadします。削除したかったパーティションはもうリストされません。

10. *Applications > Autodesk > Smoke Common Utilities*フォルダからService Monitorアプリケーションを開き、Stone+Wireサービスを再起動します。

Note: 上記で行ったSmokeの構成はメディアストレージフォルダを使用できなくする方法です。ディスク上にある実際のフォルダやそこに保存されていた中間ファイルは消去していません。ディスクからフォルダを削除したい場合には、ファインダを使用してください。

